

発言通告表（一般質問）

令和4年11月定例会

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
1	望月 徹（3）	<p>1. 里親など、子供の受入先の拡大と普及促進について</p> <p>日本国内で、様々な理由で「自分の家庭で暮らせない子供」は約4万6000人存在すると言われていています。「自分の家庭で暮らせない子供」の受入先としては、公的には施設と里親があります。現在、日本では里親が受け入れるケースが約10%。富士市の令和4年11月1日現在の里親登録件数は40件です。ゼロ歳から18歳までの間に家庭の経験を持つということは、成長期の過程で大事なことと考えます。</p> <p>また、一般家庭内で緊急を含め、子供の宿泊を含む一時預かりを必要とする家庭も増えています。</p> <p>里親など受入先の拡大及び普及促進として、新事業の提案も含め、本市の取組と今後の方策について、以下質問いたします。</p> <p>(1) 新しい事業として、保護者からの依頼による「ショートステイ協力家庭」事業を提案いたします。里親登録でなく、福祉の専門家等の協力家庭でのショートステイです。里親登録のない学区では、厳しい家庭環境の家族に有効なアイテムと考えますが、当局の見解をお伺いします。</p> <p>(2) 今までの議場での答弁の中で、1小学校に1人の里親、いわゆる校区里親の普及を目指すと回答されています。本市は、普及促進策として広報紙、ラジオエフなどによる啓発を実施していますが、令和4年10月1日現在、里親のいない小学校区が6区あります。この実状と今後の方策について、当局の見解をお伺いします。</p>	市長 及び 担当部長

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
2	小山 忠之（26）	<p>1. 「(仮称) 市民会議（ミニパブリックス）」の活用と制度化について</p> <p>ここで言う市民会議とは、無作為抽出で選出した多数の市民による課題解決のための会議体で、ミニパブリックスとも呼ばれる手法である。ただ、この手法については必ずしも一般的に共有され認識されているとは言えないので、ここでは仮称として議論を進めることとする。</p> <p>さて、富士市は第五次富士市総合計画後期基本計画策定及び第六次富士市総合計画の策定において、無作為選出による市民参加制度を導入した市民懇話会を設け、サイレント・マジョリティーと言われる市民の声を吸い上げ集約しようと実践した経緯がある。令和4年度にスタートさせた第六次富士市総合計画の策定過程においては懇話会を総勢120人から成るフジ6未来創造懇話会と称し、成果として相当のボリュームに満ちた貴重な提案を得て、計画にも反映させたものと考ええる。</p> <p>同懇話会は、ここで言う市民会議（ミニパブリックス）の一つとされるドイツ生まれの「プラーヌクスツェレ」と呼ばれる方式を参考に設置、開催したということである。</p> <p>民主政治は代表制を原則として機能しているが、住民の価値観の多様化・複雑化が進む一方、地域社会における諸問題・諸課題が複雑・専門分化している中で、静かな大衆あるいは物言わぬ多数派と言われるサイレント・マジョリティーの声は多数であっても静かなるゆえに埋没しがちとされる。そうした中で代表制を補完しサイレント・マジョリティーの声を直接すくい上げる手法として近年注目されるのが「(仮称) 市民会議（ミニパブリックス）」であり、その大きな特徴は、会議の構成員が地域社会の縮図を形成するものだという点である。富士市も既にその一部を実践してきたことになる。</p> <p>そこで以下、市長の所見を伺う。</p> <p>(1) 民意を受ける手法は多々あるが、新たな有力な手法として既に実践している「(仮称)市民会議(ミニパブリックス)」を制度化し、全市民的な重要案件について臨機にかつ積極的に導入してはどうか。</p> <p>(2) 全面改築して「令和18年度開院もしくは1年でも前倒しで開院」としている富士市立中央病院の立地及び市民の望む将来の在り方について、地域社会の縮図となる「(仮称)市民会議（ミニパブリックス）」を設置し意見・提言等求めたいかがか。</p> <p>2. 健康保険証の「個人番号カードへの一体化」について</p> <p>富士市も個人番号カード(以下マイナンバーカードという)の普及に向け、政府の強い意向も受けて積極的に市民に働きかけているところであると理解する。特にカードの普及と消費の活性化をうたうマイナポイントが付与されていること、さらに、健康保険証と公金受取口座のマイナンバーカードへ</p>	市長 及び 担当部長

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
2	小山 忠之（26）	<p>の一体化に大きなポイントを付与するという、金銭も絡んだ申請誘導策が講じられていることもあり、富士市においてもカード申請者数とマイナポイント付与申請者数はこのところ急激に増加しているようである。</p> <p>所管課のまとめでは、今年10月末現在で申請者数は富士市の人口比で65%を超え、交付数は同51%強となっている。このマイナンバーカードの申請そのものは任意であり、マイナポイントの取得も任意であって、それらは個人の意思によって自由に行われて一向に構わないものである。</p> <p>ところが、政府（デジタル大臣）は10月に、現行の紙製等の健康保険証を2024年秋までに廃止して、もともと任意であるはずのマイナンバーカードに一体化させる趣旨の声明を出した。これは一般には、政府はマイナンバーカードの事実上の義務化にかじを切ったと受け取られたようだが、これに対する反発も根強く広がっているとされ、事実上の義務化に係る行方はまだ流動的な要素が少なくないものと思われる。</p> <p>富士市も令和4年度にスタートした第4次情報化計画において、「便利で安心な市民サービスの提供」として、マイナンバーカードの活用を挙げ、国民健康保険証及び後期高齢者健康保険証のマイナンバーカードへの一体化を進めるとして、令和8年度までの目標値も掲げて取り組んでいる。</p> <p>そこで、以下伺う。</p> <p>(1) 現行の紙製等の健康保険証の「2024年秋までの廃止」との声明をどのように受け止めたか。市長の率直な感想と認識について。</p> <p>(2) 富士市が進める国民健康保険証、後期高齢者健康保険証のマイナンバーカードへの一体化について。</p> <p>① 国民健康保険証及び後期高齢者健康保険証のマイナンバーカードへの一体化対応について、どのような手法で取り組んでいるか。これまでの実績はどうか。</p> <p>② それぞれの課題についてはどう捉えているか。</p> <p>③ 富士市内の医療機関等の健康保険証に対するマイナンバー対応についてはどう把握しているか。</p> <p>(3) これら保険証のマイナンバーカードへの一体化が仮に進んだとしても、マイナンバーカードの申請はあくまで任意であることから現行の紙製等の保険証使用の選択肢は残存すべきと考えるがいかがか。</p>	市長 及び 担当部長

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
3	藤田 哲哉（13）	<p>1. 人、動物、地域に向き合う多頭飼育対策、社会福祉と動物愛護管理の多機関連携について</p> <p>高齢化や核家族化といった社会の変化に伴い、ペットを家族の一員として飼育する家庭が増加している一方、ペットの飼育に絡んだ様々な問題も起きている。</p> <p>平成24年の動物愛護管理法改正の目的に「人と動物の共生する社会の実現」が明記されたことを受けて、人と動物が幸せに暮らす社会の実現プロジェクトを実施する中で、飼い主、動物、周辺環境に大きな影響を与える不適切な多頭飼育に起因する問題（以下、「多頭飼育問題」という）が、地方自治体における殺処分削減の取組を大きく妨げていることが明らかになった。</p> <p>多頭飼育問題の背景には、飼い主の経済的困窮や社会的孤立等が複雑に絡み合っており、「人」と「動物」に係る別々の問題として対応することでは解決が困難であると考えられる。すなわち、これまで「動物の問題」として捉えられがちであった多頭飼育問題は、動物の飼育状況の悪化だけでなく、飼い主の生活の質の低下及び悪臭や衛生問題といった近隣に影響をもたらす、人と地域の問題も含めた社会問題という広がりを持っており、対応に当たっては動物愛護管理行政、社会福祉行政のみならず、公衆衛生行政、警察行政等を横断する問題であり、多分野の関係者が連携して取り組むことが求められている。</p> <p>そこで、以下質問する。</p> <p>(1) 多頭飼育問題という難題に対応するため、環境省は、人、動物、地域に向き合う多頭飼育対策ガイドラインを令和3年3月に発行し、厚生労働省とともに各都道府県の動物愛護管理部局及び福祉関連部に対してガイドラインの活用とそのための体制構築のため、官民の枠を越えて関係機関や関係団体等に本ガイドラインを周知するよう通知している。本市では、どのような団体等へ周知を図り連携体制を構築しているのか、その取組について伺う。</p> <p>(2) 多頭飼育問題への対応は、時系列的に予防・発見・発見後の対応・再発防止の4つに大きく分けられる。それぞれどのように取り組まれているのか伺う。</p> <p>(3) 多頭飼育問題に対応するため、市の福祉部や環境部等、県の機関である保健所の福祉課や衛生薬務課等、また、関係機関・関係団体として地域包括支援センターや動物愛護団体等がケース会議を持って取り組まれているのか伺う。</p> <p>(4) 県、市、民間団体等による多機関連携の取組として、要保護児童対策地域協議会の取組がある。代表者会議、実務者会議、個別ケース会議という流れで、顔の見える関係を構築し情報共有を行なっており、実務も大変スムーズに行われている。多頭飼育問題に対応するためには、要保護児童対策地域協議会同様、多機関連携がスムーズにできる協</p>	市長 及び 担当部長

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
3	藤田 哲哉（13）	<p>議会組織を立ち上げることが大切であると思うが、どのよう にお考えか伺う。</p> <p>2. 市営住宅の共益費の負担について</p> <p>市営住宅の共益費としては、防犯灯や水道ポンプ稼働のため の電気代がある。その負担については、各市営住宅（以下、 住宅という）の住民に委ねられており、金額は住宅ごとにま ちまちである。そのため、住宅によっては住民の費用負担に かなりの差が生じている。</p> <p>そこで、以下質問する。</p> <p>(1) ある住宅では、全体の入居率は64.5%であるが、各棟ご とに見てみると93.7%から43.7%までと大きく差がある。 共益費は、全体の電気代を各棟で均等割してから、その金 額を入居者数で割るため、各棟の入居率に比例し倍くらい の金額差が生じている。そのような実態を当局としてどの ように把握しているのか伺う。</p> <p>(2) 市営住宅全体の約半数は入居率が60%台であり、各棟ご とでは上記のような状況も考えられる。入居率については 住民の皆さんでは調整ができないので、このことにより負 担の差が大きくなることは、住民の皆さんの本意ではない と思われるが、当局はどのようにお考えか伺う。</p>	市長 及び 担当部長

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
4	小池 義治（10）	<p>1. 自動運転バスの実用化を見据えた、富士駅－新富士駅間の接続について</p> <p>J R 富士駅と新富士駅が離れた立地にあることは、本市において長年の課題であり、かつてはDMV（デュアル・モード・ビークル）の研究、ワンコインタクシーの実証実験の取組等がされてきたが、現時点では特に新機軸は示されていないように見える。</p> <p>9年前の平成25（2013）年11月定例会で私が一般質問した際には、「富士駅－新富士駅間の接続のニーズは1日当たりおよそ700人」、「本市の広域的な優位性を一層高める上で身延線延伸が最も優れているが、平成16（2004）年度の試算で130億円という多額な工事費や、事業主体であるJ R 東海の採算性などを勘案するとハードルが高い」、「DMVは、ここ数年での実現可能性は低い」という旨の答弁がされている。</p> <p>近年、世界中で自動運転技術の研究が進んでおり、例えば茨城県境町では、2020年11月に自動運転バスを実用化、時速20キロメートル以下の低速かつ信号の連携や路上駐車回避はドライバーが処理する段階であるが定常運転を開始している。</p> <p>また、バス専用道路を使ったBRT（バス・ラピッド・トランジット：バス高速輸送システム）の自動運転バスでは、J R 東日本が今年12月5日から宮城県の気仙沼線などで大型バスを用いて最高時速60キロメートルで実用化すると発表している。</p> <p>自動運転技術の進展や社会情勢の変化なども踏まえ、富士駅－新富士駅間の接続について再検討すべきと考え、以下質問する。</p> <p>(1) 平成25年の時点で、1日当たりおよそ700人とされた富士駅－新富士駅間の接続ニーズについて、現在はどれほどと予測されるか。</p> <p>(2) 平成25年の時点での比較検討の中では、最も優れているとされた身延線延伸について、この間に調査・要望等はされてきたか。また、将来的な可能性についてどう評価しているか。</p> <p>(3) DMVについては、昨年から徳島県海陽町と高知県東洋町を結ぶ阿佐海岸鉄道が営業運行を開始しているが、本市への導入についてどのように考えているか。</p> <p>(4) 自動運転バスの実証試験運行を行うなどして、富士駅－新富士駅間（あるいは、富士駅－新富士駅－イオンタウン富士南）における自動運転バスによるシャトル運行の可能性について調査・検討してはどうか。</p> <p>(5) 自動運転技術の最新動向も踏まえた上で、平成16年度の公共交通網検討調査で行ったように、富士駅－新富士駅間の接続のあらゆる可能性（一般道での自動運転バス、バス専用道路の敷設によるBRT自動運転、LRTの敷設、東</p>	市長 及び 担当部長

順位	氏名（議席）	発 言 の 要 旨	答 弁 者
4	小池 義治（10）	<p>海道本線上に新駅を設置し動く歩道で接続するなど）を改めて調査し、比較再検討すべきと考えるがいかがか。</p> <p>2. 10月10日に開催された大河ドラマトークショーについて 本市とNHK静岡放送局は、10月10日に「大河ドラマ『鎌倉殿の13人』スペシャルトーク in 富士市」をロゼシアター大ホールで開催した。このトークショーには400万円余の公費が支出されたが、市議会に補正予算案として上程されずに予備費から充当したと聞き及んでいる。このことについて、以下質問する。</p> <p>(1) 公費支出額はいくらであったか。また、何にどれほど使用されたか。</p> <p>(2) 公費の支出を、市議会に補正予算として上程せずに、予備費から充当したのはなぜか。</p> <p>(3) 今回のトークショーの参加応募方法は、往復はがきのみであった。9月18日に、本市とほぼ同様にNHK地方局との共催で山形県寒河江市が開催した「鎌倉殿の13人スペシャルトークショー」では、電子申請で募集が行われていた。行政手続のオンライン化や官民が連携したデータ利活用の推進を掲げたデジタル変革宣言をしている本市としては、往復はがき等との併用も含め、電子申請での募集を検討すべきであったと考えるが、今回なぜ、往復はがきでのみの募集としたのか。</p>	市長 及び 担当部長